

後発医薬品への変更により、患者需要に答える
～対比表を用いた後発医薬品変更率アップにつなげる取り組み～

小田原店

○富岡迪子、○有坂誠司、糸井政美

石井綾子（旧姓：平山）

| | |
|------|---|
| 目的 | ジェネリック医薬品に変更できることを積極的にアピールし、この薬局にかかればジェネリックで対応してもらえると認識させる。新たな患者獲得につなげる。 |
| 活動内容 | 平成22年4月の調剤報酬改定に向けて、早期の段階からスタッフ総員で徹底して説明に当る。患者様に選択してもらおうスタンスのまま、店舗作成ツールを活用して患者説明をより簡略化につなげた。 |
| 結果 | 4月の調剤報酬改定時から後発医薬品調剤体制加算（20%以上 6点）が算定できている。来局患者数や調剤報酬額は昨年より確実に増加。 |
| 考察 | 患者数や処方量の増加はあらゆる要因が重なったことではあるが、少なからず取り組みによる成果も影響していると考えられる。今後も現状に満足せず継続的に紹介を続けていく。 |